

デーリー東北
2021年(令和3年)9月24日(金曜日) (16)

非接触型検温カメラ寄贈

コロナ対策 八工大同窓会、母校に

に目録を手渡した。河原木副会長は「学びの継続の一助として使ってほしい」と強調。石山学科長は「学生が安全に学べる環境づくりが急務となる中、手厚い支援に感謝したい」と謝意を示した。(金濱千優希)

八戸 新型コロナウイルスの感染防止対策に役立ててもらおうと、八戸工業大電気系学科の同窓会・水交会(岩本明佳会長)が17日、同大電気電子工学科に対し、サーモグラフィカメラ非接触型顔認証検温器2台を寄贈した。

新型コロナの感染収束が見通せない中でも、学業の継続を願う学生らを支援しようと企画。同会は昨年も感染防止の対策品を寄贈している。今回、寄贈した検温器は温度検知と顔認証が可能で、マスク非着用の場合に着用を促すメッセージが流れる。カメラ下部には消毒液噴霧器も付いている。

同日、同大で行われた寄贈式では、同会の河原木琢也副会長が同科の石山武学科長

石山武学科長(左)にサーモグラフィカメラ非接触型顔認証検温器を贈呈した河原木琢也副会長



※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。